

学級作りのヒント

子供の自主性・主体性を育てる。

子供同士よい人間関係をつくる。

仲間意識を持たせる。 →社会性を育てる。

学級の中に自分の存在感がある。 →自分の居場所がある。

まじめな子どもが、得をする学級作り。

友達を助ける快さ。友達に助けてもらう快さ。

係活動・当番活動・補助活動

係活動

○学級のみんが、楽しく学校生活を送れるようにお互いに手助けをし合う活動。

- ・みんなのためになる活動。

○子供たちが自主的に考えてやっていく活動。

- ・先生の手助けではない。(補助活動ではない。)
- ・不可欠の奉仕活動ではない。

○メンバー：自由または、班。

○人数：2～4人。

○毎日、活動できること。毎日、仕事があること。

○仕事分担をして、一人一役にする。

- ・「私は、〇〇系の☆☆の仕事します。」

○または、一人1係にしてもよい。(特に低学年の場合)

○具体例

- ・忘れ物係→忘れ物をした人に貸してあげる仕事。(はさみ・定規・分度器など)
貸すものは、教師が用意したり、子供たちの中で寄付を募る。
- ・掲示係→作品コーナーなどを作り、毎日1～2作品を張りかえる。(習字・絵)
- ・遊び係→休み時間等に学級遊びを計画実行する。
- ・学級新聞係→学級新聞コーナーを作り、毎日、学級のニュースを1～2書いて張りかえていく。
- ・学級文庫係→学級文庫を作り、ルールを作り、貸し出し等をしていく。マンガを入れてもいい。
本は、子供たちの中で寄付を募ってもよい。
- ・生き物係→教室で飼う生き物や花の世話。世話や、世話を忘れている人に声かけをする。
係の者だけが世話をするのではなく、学級のみんが世話をするという感覚で。
「〇〇さん。水やりをわすれていますよ。」とか

当番活動

- 本来一人一人が自分でやらなければいけない仕事を交替で順番にやっていく仕事。
- 人数は、少なめに。
 - ・仕事量が多いからといって、人数を増やすとさぼる子供が出てくる。
- 当番活動は、順に回ってくるので、いつもみんながやることはない。できるだけ回転を早くする。
- 給食当番
 - ・毎週代えて行くぐらいがいい。
 - ・「給食当番の仕事もみんなで作れることは、手伝いましょう。」
「自分の班の配膳ぐらいいは、しましょう。」
牛乳、パン、バターなどは、自分でとりにいく。
おかずぐらいいだけを給食当番にさせる。後は、取りに来させる。
取りに来る場所を確保するために後に牛乳を置くとか配慮が必要。
早く配膳が出来る。
マスク、手洗い、帽子など衛生面の配慮が必要。
栄養の先生に「だめ」と言われるときがある。衛生面や安全面で
- 掃除当番
 - ・学級全体の3分の1ぐらいいを当てるのがいい。(全員掃除の学校が多いが・・・)
 - ・人数は、一箇所に4人程度。
 - ・少ないほうがいい。2回ぐらいい休めるところがいい。
 - ・掃除点検用紙等をつくり掃除の後、チェックをさせるとよい。
 - ・掃除の仕方も順に説明することも大切。
具体的にその場所に行って説明するとよい。(高学年でも)。
自分のところが早くすめば遅いところを手伝うように条件をつければいい。
「一箇所でも時間内に終わらなかったら、明日ももう一度このメンバーで掃除をしても
らいます。」「掃除当番は、場所によって決めているのではなく、今日の掃除当番は、
だれだれと決めているのですからね。」といってやる。このように自然と周りの班を手
伝わなければいけないのだなあという雰囲気を作ることが大切。
- 日番
 - ・仕事内容を決めてやるといい。担任のねらいに応じて。
 - ・その仕事は、なぜするかということの説明してやること。
 - ・日誌は、担任のねらいを持って、作ること。

補助活動：先生の仕事の手助けをする活動

席の並べ方

- 担任の意図があれば、その意図にかなう並べ方がよい。
- 低学年→前向き・二人組。2列コの字型。
- 高学年→3～4人の班。
- 席も最終的には、自分たちで決めることが出来るようにすることが大切。みんなのことを考え、自分がどこに座ればいいかを考えられる子どもを作ること。そのためには、まず、先生が4人を決める。そして、決めてからこういうのです。
「4人を決めました。お互いに顔を見てみましょう。それぞれどんな人だかわかりますね。この班になったらこの班のために自分は、何をしたらいいかよく考えましょう。」
「それぞれ自分の得意なことがあるはずですよ。それを使って班の人を助けましょう。」
そして、場面場面で「あなたは、そんなことをしていいのかなあ。」とか言ってやる。そうするとだんだんにわかってくる。
「意図を子どもに説明する。または、考えさせる。」そして、具体的場面で「意図に沿っているかどうかを問いかける。」というパターン。